

一般社団法人口カップジュニア・ジャパン  
2020年度第1回理事会議事録

1. 日 時 : 2020年2月16日(日) 11:00~14:15

2. 場 所 : 大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル1階会議室

3. 出席者

(1) 本人出席者 8名

大橋健、水野勝教、今井俊二、島谷太、森重智年、小山航太、松山森仁、  
田中宏明(監事)

(2) 委任状提出者 3名

松原仁、中島晃芳、野村泰朗

(3) 理事以外出席者 5名

山下真(WG)、後藤修平(WG)、前田正久(事務局長)、浅沼まり(事務局)、休場万喜  
(事務局)

4. 議 事

1. 2019年度収支決算(案)、事業報告(案)
2. 2020年度予算(案)
3. 2020ジュニアジャパンオープン和歌山について
4. 2020ジャパンオープン愛知の協力について
5. 2020ロボカップアジアパシフィックについて
6. 2021年以降のジュニアジャパンオープンについて
7. フェローへの推薦について
8. 議事録署名人の選定
9. その他

5. 資 料

資料1-1. 2019年度収支決算報告(案)

資料1-2. 2019年度事業報告書(案)

資料2. 2020年度予算(案)

資料3. ジャパンオープン和歌山大会について

資料4. ロボカップジュニア練習会 参加チーム募集のお知らせ

6. 議事概要

(1) 議長の選出

①大橋代表理事が議長に選出され開会を宣言し、本総会は、定款第18条の規定を満足しており、成立していることを報告した。

(2) 2019年度収支決算(案)、事業報告(案)について

①島谷理事より、資料1-2に基づき、2019年度事業報告書(案)および資料1-1に基づき収支決算報告(案)について説明がなされ、事業報告書内のタイプミスを修正すること、及び今井理事から指摘のあった決算書内の管理費総額と予算書の2019年実績額内の管理費総額が一致しない件は、決算書と予算書の科目が違うため、科目別の金額の相違はあるが合計金額は一致しており、来年度からは科目を一致させるとの回答がなされた。

・今井理事より、資料1-2に基づき、ロゴマーク・名称使用の許可数について質問がなされた。事務局より、ロゴマーク・名称の使用許可数は、グッズ作成等に使用された際の許可数であり、ブロック大会やノード大会毎の数ではない旨、説明がなされた。

②田中監事より、2019年度事業報告書および収支決算書を監査した結果、いずれも適正かつ正確であったとの報告がなされた。

(3) 2020年度予算(案)について

①島谷理事より、資料2に基づき、2020年度予算(案)について説明がなされ、承認された。

・森重理事より、新型コロナウイルス感染拡大を受け、大会が中止された場合の予算について、質問がなされた。島谷理事より、2019年度はジュニア会員の募集を中止し、大会参加料を一律した結果、収益が安定してきており、大会が中止になった場合でも1年間は運営管理が可能である旨、説明がなされた。

・後藤氏より、過去の大会でメンター登録料を支払っているにも関わらず意見を言うことができない、とのクレームを受け、メンター登録料の名称変更が提案された。大橋代表理事より、メンターからのご意見、クレームは事務局にて受け、理事会にて検討するが、競技中は競技者自らが審判に対して意見を言

うルールであり、メンターが意見することは出来ない旨説明がなされ、名称変更はしない旨回答がなされた。また、メンターの役割などについての周知徹底が必要であることを確認した。

・松山理事より、HP見直し予算を通信費内でとることは可能かどうかの質問がなされた。島谷理事より、HPの見直しについては、まず理事会で提案・承認を受ける必要があるため、今期の予算に含めることはできない旨、説明がなされた。

・水野専務理事より、2019年メーカーフェアへの参加の際、予算が無かったため、関東ブロックが一部負担した経緯があり、普及事業費の増額が提案された。また、森重理事より、レスキューではスコアリングシステム開発、運用（プレゼン資料等の事前のWeb提出等）のために、個人がサーバー費用を負担しているケースがある旨、報告がなされた。島谷理事より、普及事業費は昨年度より増額されており、これ以上の大幅な増額はできないが、今後も安定した収益が見込めることができれば、予算増額の検討はできるので各理事が詳細を提出して欲しい旨説明がなされた。

(4) ジャパンオープン和歌山大会について

①山下氏より、和歌山市より提出頂いた資料3について報告がなされた。大会日程は、和歌山市のホームページに掲載されており、合わせて2月9日和歌山現地打合せを基に、前回からの変更点について説明がなされた。また、会場図面を基に充電候補地の説明がなされ、再度検討することとなった。

②松山理事より、サッカーフィールドとパドックを一台ずつ増やす旨、報告がなされた。これに対し、水野専務理事より、スタッフ確保、予算増額に関する懸念が示された。

③水野専務理事より、新たに作成中の同意書に関する意見が求められ、親権者のサインが無いものはどのように扱うのか等を引き続き検討していくこととなった。

(5) 2020ジャパンオープン愛知の協力について

①水野専務理事より、資料4に基づき、メジャーの大会期間中にジュニアの練習会を企画しており、各競技委員やブロック長を通じて参加を募る旨、報告がなされた。

(6) 2020ロボカップアジアパシフィックについて

①大橋代表理事より、RCJJからアジアパシフィックにチームを推薦する際の、推薦基準が提案された。和歌山大会のWLは、世界大会出場への選抜を兼ねているため、アジアパシフィックには世界大会出場チームを除く成績順で推薦する案が出された。また、新型コロナウイルスの影響により、WLの優勝チームがボルドー大会へ出場できなかった場合、アジアパシフィックへ推薦するべきか否か等、今後引き続き協議を進め、次回理事会で最終決定する旨、報告がなされた。

(7) フェローへの推薦について

①大橋代表理事より、昨年の理事会で承認されたとおり、高橋友一前代表理事をフェローに推薦する旨確認がなされ、運営規程に基づき総会にて承認の採決を採る旨、確認がなされた。

(8) 2021年以降のジュニアジャパンオープンについて

①大橋代表理事より、前回理事会で決定したとおり候補地であった名古屋市と予算等の交渉をした結果、名古屋市が正式に2021年～2023年の開催地に決定し、名古屋市長より記者発表がなされた旨、報告がなされた。

(9) その他

①水野専務理事より、新型コロナウイルス等の不測の事態が起こり、ノード、ブロック大会が出来なかった場合やジャパンオープンが出来なかった場合、どのように選抜チームを決定するか協議する必要がある旨、提案がなされた。森重理事より、OnStageやRescueリーグはビデオ審査と書類で審査する提案がなされた。島谷理事より、世界大会の推薦は、各ブロックから希望者を募り抽選るのはどうか、との提案がなされた。また、今年のジャパンオープンで海外チームの公募をするにあたり、特定の国や地域からの受け入れを断る可能性があることを確認した。

(10) 議事録署名人の選任

本日の議事録署名人として、今井俊二氏、及び森重智年氏にお願いすることとなった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2020年2月16日

議長 大橋 健

議事録署名人 今井 俊二

同 森重 智年

